

平成 29 年度

筑波大学大学院  
ビジネス科学研究科企業法学専攻  
入学試験問題

[小論文]

(2016 年 9 月実施)

**[注意事項]**

答案用紙は、2 枚使用し、裏面は使用しないこと。

## 問題

次の文章は、本堂毅「科学者からみた法と法廷」『岩波講座現代法の動態 6 法と科学の交錯』（岩波書店、2014年）から抜粋し、出題用に編集を加えたものである。これを読んで、後の問に答えなさい。

本文については、著作権法により  
公表しておりません。

### 問1

下線部①について、筆者の考える問題を説明しなさい。

### 問2

下線部②について、問題解決を妨げる事由を、本文の中から簡潔に3つ挙げなさい。

### 問3

本文の内容をもとにして、法廷において科学的知識の活用と法本来の規範的判断を適切に行っていくためには、どのような工夫が有用であるかについて、論じなさい。